



# 11月の園だより

太陽の子保育園 H27.11

朝夕めっきり肌寒く感じられるようになり、遠足先の公園では木々が秋色にすっかり染まっていました。遠足ではかなりの距離を歩いているのですが、目的地に着くと早速、走ったり・飛んだり友達と仲良く遊んでいました。子どもは本当に元気ですね。

これからも沢山の楽しい行事を控えています。気候の変化で体調を崩しやすくなってきますが、生活リズムを整え元気に登園していただければと思います。



## 平成 28 年度 保育園入園のしおりを配布します

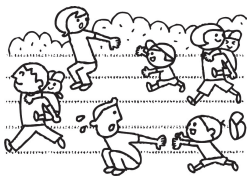
来年度 4 月以降に羽村市内の保育園に入園をご希望される方に対して「保育園入園のしおり」「入園申込書」「勤務証明書」を 11/2 より配布します。ご必要な方は受付までお声かけください（提出は羽村市役所子育て支援課保育・幼稚園係窓口 12/1～12/14）。

保育園変更を希望する方に「保育園変更願」も配布しています。

次年度以降継続して保育園をご利用する方への「継続申請書」は 11 月中旬頃より配布し、継続申請は来年の 1/6～1/22 の予定となっています（昨年度より保育園での出張受付はありません）。

## 運動会へのご参加 ありがとうございました

運動会ではたくさんの方にご参加をいただき、ありがとうございました。4 月から半年間で、心身ともに成長したお子様の姿に感慨もひとしおだった



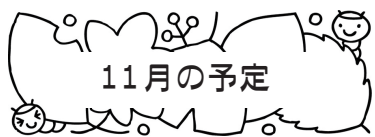
のでは…そんな子どもたちも 12 月の SUN 太お楽しみ会に向けて頑張っています。さらに成長した子どもたちの姿を楽しみにしててください。また、アンケートにもご協力をいただきありがとうございました。皆さまからいただいた貴重なご意見は、来年度の運動会の参考にさせていただきます。

## 退職します

保育士の井上薫が体調不良のため退職します。短い期間でしたが、くま組の担任として精一杯頑張ってくれました。退職は非常に残念ですが、今後元気になってくれることを祈っています。

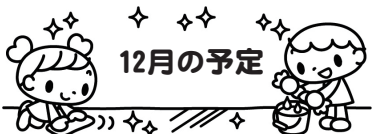
保育補助の原島京子が介護のため退職します。これまで、平日のみならず土日祝日と保育のサポートをしてくれました。保護者の皆様にはこれまでお世話になりありがとうございました。

なお、井上の退職に伴い、ぱんだ組の小林がくま組担任に異動となります。また、ぱんだ組には副主任の吉田及びフリー担当がサポートに入ります。



## 11月の予定

- 5日(木) 調理保育(らいおん)
- 5日(木) 懇談会(ひよこ)
- 6日(金) 懇談会(ぺんぎん)
- 9日(月) 避難訓練
- 10日(火) 保育参加・懇談会(うさぎ)
- 11日(水) 保育参加・懇談会(ぱんだ)
- 12日(木) 保育参加・懇談会(くま)
- 13日(金) 保育参加・懇談会(らいおん)
- 16~20日 身体測定
- 17日(火) 幼児体育指導
- 18日(水) 音楽指導
- 20日(金) お誕生会
- 20日(金) 職員会議
- 28日(土) はむら保育展



## 12月の予定

- 2(水) 避難訓練
- 2(水) 体育指導[職員]
- 4(金) もちつき
- 9(水) SUN太 リハーサル
- 14(月) 身体測定
- 15(火) 体育指導(幼児)
- 16(水) 音楽指導(幼児)
- 18(金) お誕生日会
- 19(土) 大掃除
- 22(火) 調理保育(らいおん)
- 26(土) SUN太お楽しみ会

## はむら保育展

11/28(土) 10:00~16:00

保育展は、羽村市内にある公立・私立の保育園が、普段の保育の様子を広く皆様に紹介するイベントです。今年度の保育展は、ひよこ組の霞末絢可が担当となります。羽村市生涯学習センター「ゆとろぎ」



## 「反抗」について

「0～3歳 能力を育てる 好奇心を引き出す」  
汐見稔幸 著 主婦の友社 より抜粋

### 毎日、毎日、「イヤ!」「イヤ!」

2 歳前後になると、いったんつむじを曲げると何を言っても「イヤ」「イヤ」の連発が始まります。

「パジャマに着かえようね」「イヤ!」「じゃあ、そのまま寝るの?」「イヤッ!」「どうするのよ、いったい!」「イヤーッ!」というぐあいです。英語ではそのため、2 歳児をテリブルトゥー (terrible two)、恐るべき 2 歳児というくらいです。

反抗には個人差があり、盛んに反抗するのは、いわゆるマイペース型の子です。人とかかわるより、自分で何かしたいという気持ちが強く、好ききらいがはっきりしているのが特徴ですから、頭の中にお母さんと同じ生活の時計があるわけではないことを、なにかにつけて強く主張します。これが反抗となってあらわれるのです。

### なぜ反抗が起こるのだろう

反抗はいろいろな要素がからみ合って起こりますが、大別すると 4 つのタイプが考えられます。

その 1 つは、子どもに予測する力がついてきたことと関係があります。自分の気に入ったことをしたいので、お母さんが「さあ、ごはんだからおうちに帰ろうね」と言っても、「こんなに楽しんで遊んでいるのに。もっと遊んでいたい。おうちに帰りたくない」という気持ちになるのです。

2 つ目はちょうど自我が急成長するころなので、自己主張の最盛期になること。手先も多少器用になって、靴をはくとか、はさみで切るとか、いろいろなことができるようになりますから、自分の能力を使ってみたくてしかたがないのです。でも、まだへたなのでなかなかうまくいかず、イライラしているのに、お母さんが気づかず、いままでと同じように赤ちゃん扱いをしていると、子どもはプライドを傷つけられて反抗的になります。

3 つ目は心の基盤ができていない子の反抗です。親子の間に基本的信頼感がしっかり形成されていないため、対人関係に不安があって、自分にやさしくしてくれる人には極度に甘えませんが、敵対関係にあると思っただ人には反抗的な態度をとります。

4 つ目はそんなにはっきりとは説明のつかない反抗の場合です。早くおしゃべりができるようになって「よい子」にさせられてきた子が、2 歳半を過ぎたころから急に反抗的な態度をとるようになった場合、「もう親の言いなりにはならないぞ、自分がやりたいことをやるんだから」という宣言を、幼い方法で表現することもあります。

## 反抗にはどう対応したらいい?

子どもが反抗的になっているときに、それを無視して親の言うことを聞かせようとするのは、最もまずい対応です。子どもはますます反抗的になって、それこそ收拾がつかなくなりします。

反抗は子どもの心が成長したしるしと、おおらかに受けとってやるのがいちばんいいのですが、いつも時間に追われている親としては、そうそう子どもの要求を認めてばかりはいられませんね。

2 歳児を扱い慣れた保育園の保育士さんは、散歩に行くとき、「お散歩に行くから、おしっこ行ってらっしゃい」とは言いません。反抗期を迎えた子どもたちから「おしっこなんて出ないもん」「おしっこ行かなきゃいけないんなら、お散歩行かない」と言われるに決まっているからです。そこで、

「あの公園にね、ヤギさんがいたんだよ。見たいねえ。みんなどうかなあ」

「えっ、行きたい」「ヤギさん、見たーい」「あっ、おしっこ行ったかな」

「まだ」「先生、待ってて」「行ってくる」  
というように対応するそうです。うまくノセるといったらいいでしょうか。

子どもは楽しみが待っていると、その前の障害を乗り越えることができます。何かさせようとしたら、子どもに期待を持たせてやる必要があります。



## 反抗が目立たない子は?

反抗が目立たない子にはことおひあります。一つは親がじょうずに対応していて、反抗がほとんど目立たない場合。全く問題ありません。

しかしもう一つのケースは問題です。お母さんの期待に添った行動をするいわゆる「いい子」は、小さいうちは確かに育てやすいでしょうが、しだいに「自分という自我」と「周囲の期待に添わなくてはならない自我」の葛藤に悩むようになります。よく「小さいころはいい子だったのに……」という相談がありますが、こういう子は思春期になってから問題行動が目立つようになります。

もし自我の形成がおくれているために反抗しないのであれば、これまでの育児をふり返ってみてください。小さければ小さいほど立ち直りは早く、傷も小さいのですから。子どものあるがままの姿を認め、子どもの一歩後ろからついていくという気持ちを失わないで、育児を見直してください。